

プログラム

第一部

- 1、はじまりのお話
- 2、ごあいさつ おさらい
- 3、長唄「京鹿子娘道成寺」説明
- 4、「京鹿子娘道成寺」おさらい
- 5、みんなで共演！参加型 長唄「京鹿子娘道成寺」

休憩

楽器展示コーナー



第二部

- 1、楽器紹介
- 2、鑑賞
- 3、アフタートーク
- 4、校歌斉唱



れいわ ねんど がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
令和5年度 学校巡回公演事業
いっばんしゃだんほうじん なが うたぎょうかい
一般社団法人 長唄協会

はじめての長唄 「京鹿子娘道成寺」「勸進帳」

「学校巡回公演事業」

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、
子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの
豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、
将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

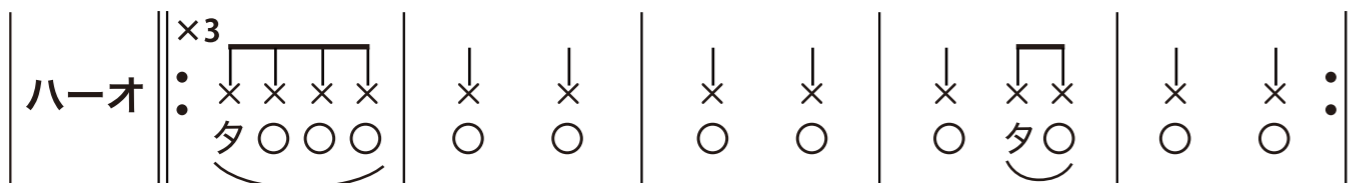
きょう がのこ むすめ どうじょうじ うた か し はやし ふ めん
 「京鹿子娘道成寺」唄の歌詞と囃子の譜面

① 謡ガカリ (唄)

響 <small>ひび</small>	暮 <small>く</small>	花 <small>はな</small>	花 <small>はな</small>
く	れ	の	の
ら	そ	外 <small>ほか</small>	外 <small>ほか</small>
ん	め	に	に
	て	は	は
	鐘 <small>かね</small>	松 <small>まつ</small>	松 <small>まつ</small>
	や	ば	ば
		か	か
		り	り

④ サラシ (囃子) (小鼓を打つ構えで手拍子をしてみましょう)

ひだりて にぎ 夕……左手を握る ○(ポン)……ひだりて ひら 左手を開く



あらすじ

きょう がのこ むすめ どうじょうじ
 「京鹿子娘道成寺」

和歌山県に道成寺というお寺があります。この道成寺には、ふたりの男女、安珍と清姫の伝説があります。安珍に恋い焦がれるあまり、清姫が大蛇の姿になってしまうという悲しい物語です。さて、それから月日が流れ、お寺の鐘を供養しようという日にひとりの女性がお寺を訪ねてきて、たくさんの華やかな舞を披露します。踊っているうちに、清姫の霊が乗り移り、やはり蛇の姿になってしまうのです。



かん じん ちょう
 「勧進帳」

鎌倉時代のお話、源頼朝と仲が悪くなってしまった弟の源義経は、兄の頼朝に追われる身となり、家来の弁慶たちとともに今の石川県にある安宅の関に通りがかります。関所を守る富樫左衛門は、義経一行を止めようとはしますが、弁慶の機転や義経への忠誠心に打たれて通ることを許すのでした。

